

平和には音がない、歴史の叫びを
覚悟をもって聴こうじゃないか。

心の中に広島を。心の中に長崎を。

今、私たちは考えなければいけない。

この国の壮絶な過去を。

人類史から永久に消えない一日がある、八月。

あの日、あそこに居たのは
みんなと同じ、「命」達。

被爆国に生きていく

村上 信吾
26 歳

忘れれば　もつと恐くなる

だから忘れない　原爆の日を…

自分の誕生日に原爆が落ちた

清水 聡

13 歳

必要のない原爆からは何も生まれない。

たくさん死にました。殺されました。

戦争の所為です。殺す道具でです。

知っていなくとも、原爆はあった。

学校で、原爆のことを考える

鼻崎 涉
12歳

Don't forget Genbaku.

原爆が「いる」人に聞きたい。

なぜほしいの？

目をそらさないで、

一度だけでも向き合って。

この日から日本は変わった

門松 志洋

14歳

時計が止まったあの日から

僕たちは平和を願い続ける

まずできることは、忘れないことだろう。

その状況を自分に置き換えて考える。

伝えなければならぬ

あの日のことを 日本に世界に

忘れないことが平和

横澤 宏哉

13 歳

おそろしさ 忘れることは

おそろしく 再び起こす原因に

世界がきちんとうき合わないと、

あの惨劇はまたおこる。

絶対に原爆の日を

ふつうの日にしてはいけない

平和を、壊すのは僕等の手。

平和を守るのも、僕らの手。

戦争は ひとを ひとでなくします

菅沼 京子

恐怖を味わった人が少なくなってきた今、
私達が知って、次の世代に伝えていくべきだ。

一年にたった二度思い出すだけで、

本当に考えていると言えるだろうか。

「原爆って何？」そんな声がふえてきてます。

約70年前のことで今も苦しんでいる人がいます。

夏の熱い日にテレビをつけて

原爆のことを思い出す

このことを忘れれば……

また同じことがくりかえされるぞ。

どうしてこうなるのか。絶対に忘れない。

恐いので、もうやめよう

廣瀬輝

13歳